

# ぽらーの花巻

2019  
**3**  
No.253

特集

ちやぐりんスクール





ビニールハウスの中で、3人で協力して行うネギの皮むき作業



「機械を上手に、カッコよく運転をしたい!」と話す絵美さん



ほぼ毎日行う出荷作業。2月の出荷はネギやハウスサイなど

## 二子いも丸 情報チャンネル

二子町振興協議会は約5年前から、北上市二子町のイベントの様子や耳寄り情報をYouTubeで生配信しています。誰でも視聴できるので、どうぞご覧ください。過去の配信も見る事ができますよ!

配信日時: 毎週水曜日 20時頃~

二子いも丸情報チャンネル 検索

農業・文化・芸能、二子町にはたくさん魅力がありますが、一番の魅力は人です! チャンネル登録を宜しくお願いします!



【コーナータイトルの由来】  
「GREEN SOLDIERS」は「グリーンソルジャーズ」と読み、「農追い人」と併せ、「農業に夢や希望を持って働く人」という意味を込めています。毎月、若手農業者や新規就農者を紹介します。

### Profile

平成28年4月に就農し、義父・義母・夫・子ども2人と6人で暮らす。水稲185aや二子さといも、タマネギなどの野菜17aのほか、転作物物なども栽培。繁忙期は休日の夫も手伝い、作業する。産直あぜみちの会若手部会と女性部北上地域支部北部支部の一員でもある。モットーは「傾聴・笑顔・挑戦」。

ちょっと  
いい話

菅原家でも栽培!

# 二子さといも



もともと、さといもは得意ではありませんでしたが、「二子さといも」を食べたらおいしいと感じ、大好きになりました。モチっと柔らかく、いも自体がおいしいので、ぜひ食べてみてください。

「二子さといも」を使った料理で一番のオススメは「いものこ汁」! やっぱり「鶏だし醤油味」がベスト! また、「煮っころがし」も一押し! 少しだけ、生姜と砂糖を入れるのもオススメです。

「二子さといも」は、北上市二子町を中心に栽培している全国的に珍しい「赤茎」の品種のさといもです。独特の強い粘り気と深いコク、煮崩れしない柔らかさが特徴で、ふるさと納税やギフトなどで人気が高まっています。また、昨年9月には地理的表示(GI)法に基づき農林水産大臣登録第68号としてGI登録されました。GI保護制度は、農林水産物や食品のうち、名称から産地が分かり、品質や特性が産地と結び付いているものを知的財産として保護する制度。生産者や県、同市、JAなどで組織する二子さといも協議会では、GI登録を契機に知名度向上やブランド力の強化に取り組んでいます。

### 毎年9月開催! 「いものこまつり」

二子町振興協議会は毎年9月、北上市立二子小学校で「いものこまつり」を開いています。いものこ汁や「二子さといも」を販売しますので、ぜひお越しください。

●No.253 / 平成31年(2019)3月号

## ぼらーの花巻 CONTENTS

- 02 農追い人  
**GREEN SOLDIERS**
- 04 特集  
**ちゃぐりんスクール**

- 08 ぼらーのNEWS ● 地域の話
- 10 あぐりネット
- 12 旬の産直大百科 / ぼらーの広場
- 13 Information ● 理事会だより / 監事会だより
- 16 風趣点景 ● 管内四季だより / 編集後記



# 義父母の背中追う、若き女性農業者 農を絶やさないう。強い意志

表紙で笑顔を見せる菅原さん家族。その笑顔が仲睦まじい家庭を象徴しているだろう。そんな菅原家では、北上産地直売所「あぜみち」が開設した約20年前から出荷を続けている。

絵美さんが二子町に越してきたのは平成23年のこと。塾の先生として働いていたが、平成28年頃に農業の規模縮小の話が出た。「縮小はもったいない。いい土地といい水、それに教えてくれる先生が居る」と、退職して農業の世界に飛び込んだ。

現在は、義父母とともに3人で稲作のほか、二子さといもやホウレンソウなど20品目以上を栽培している。仕事は3人で分担。義父の達郎さんは品種選定から出荷準備まで、義母のリユウさんは鎌を使った畝立てや草取り、絵美さんは産直への出荷や力仕事、トラクターなどの機械操作が主な担当だ。絵美さんが追うのは、義父母の背中。見

て、聞いて、やってみて、試行錯誤しながら勉強を重ねている。絵美さんは「父たちは先生であり先輩。今後も教わりたい。元気で長生きしてほしい」と話し、達郎さん・リユウさん夫婦は「重い物をたないでくれたりして助かる」と感謝する。そう朗らかに話す3人は、笑顔が絶えない明るい家庭を築いていた。

そんな絵美さんは、産直あぜみちの会若手部会の部会員でもある。販売促進活動や料理教室など、積極的に活動に参加。絵美さんは「先輩から農業のほか、子育てについても聞く事ができ、知識を増やせる。同年代の特に女性にもっと入会してほしい」と活動の楽しさを話す。

「農業は個人事業主。農を業とするため、経営者意識を持つて頑張りたい」と話す絵美さん。その瞳には、これからの家族で楽しく農業を営む姿が映っているようにも見える。



**食**  
たべる

**色**  
いろいろ

**植**  
うえる

J A いわて花巻の食農教育

ちやぐりんスクール

**触**  
ふれる

**飾**  
かざる

**職**  
しよくぎょう

「愛・農・土をキャッチフレーズに事業を進めるJAいわて花巻は、次世代を担う子どもたちに「いのち・農業・食べ物の大切さ」を伝えることを目的に「ちやぐりんスクール」を開校し、今年で16回目を迎えました。毎年60人を超える小学生が集まり、農作業や調理実習などの体験を通年カリキュラムで学んでいます。スタッフにはJA新採用職員のほか、田んぼや畑の先生、ごはんの先生、青年部や女性部、組合員や高校生ボランティアなどの協力をいただきながら多くの人の力で創りあげています。

平成30年度は、「6つの『しよく』を感じよう」食・植・触・色・飾・職」をテーマに、学年別のカリキュラムで開催。それぞれのコースに合った内容で、田んぼや畑作業を通して土に触れ合い、食と農に対する知識を習得するとともに安全安心な食に興味を持ってもらえるよう開催しました。

参加した子どもたちは、「園芸センターで機械を見ることができて嬉しかった」「玉子焼きが上手に作れるようになったよ」「収穫したり調理したりいろいろなることを学べた。来年も絶対参加したい！」などといった声を聞かせてくれました。

★「ちやぐりんの意味  
チャイルド(子ども)、アグリ(農業)、グリーン(自然)を掛け合せた造語です。

平成30年度  
年間スケジュール

1.2年生・保護者	
5月12日(土)	開校式・田植え体験
6月23日(土)	野菜収穫体験
7月21日(土)	田んぼの生き物調査
10月6日(土)	稲刈り・ジャンボのりまき作り
11月17日(土)	もちつき・閉校式
3.4年生	
5月12日(土)	開校式・ズッキーニ植え付け
6月23日(土)	枝豆植え付け
7月21日(土)	ピザ作り
9月1日(土)	リンゴ学習
10月6日(土)	稲刈り・ジャンボのりまき作り
11月17日(土)	リンゴ収穫体験
12月8日(土)	おはぎ作り・閉校式
5.6年生	
5月12日(土)	開校式・お弁当のおかず作り
6月23日(土)	お弁当のおかず作り
9月1日(土)	ピーマン収穫体験・お弁当のおかず作り
10月6日(土)	稲刈り・ジャンボのりまき作り
11月17日(土)	お弁当作り・閉校式



5・6年生

高学年は年5回のコースで、「食」を重点的に学びました！講師の本館博子さんと藤根悦子さんのご指導のもと、お弁当のおかず作りに挑戦しました。

- ① **食** - おにぎらず・玉子焼き・みそ玉  
初めて玉子焼きを作る子どもたちもいて、「巻くのが難しい」という声がありました。
- ② **食** - ニンジンと玉ねぎの炊き込みごはん・サラダ・ぼたぼたスープ・チキンソテー  
調理で使う野菜を「母ちゃんハウスだあすこ」へ買い物に行き、職員や生産者の方から新鮮でおいしい野菜の見分け方を教えてもらいました。買って来た野菜を使用しお弁当のおかず作りをしました。
- ③ **職・食** - ピーマン収穫体験・枝豆としらすのおにぎり・ピーマンの雑穀入り肉詰め  
ピーマンのほ場へ行き、収穫の仕方やピーマン価格変動などを学びました。その後、収穫

してきたピーマンを使って調理しました。採れたてのピーマンはとても甘みがあり、苦手と言っていた子どもたちもしっかりと食べていました。

- ④ **色・食** - 稲刈り体験・ジャンボのりまき作り  
慣れた手付きで鎌を使いたくさんの稲を刈ってくれました。ジャンボのりまき作りも具が飛び出さないようにきれいに巻いてくれました。
- ⑤ **食・飾** - 混ぜごはん・中華スープ・玉子焼き・小さな森・パプリカの肉巻き  
1回目で作った玉子焼きを始めとする4品を、記念品のお弁当箱に詰めました。「いつもはおかずだけだったけど、今回はお弁当箱に詰めて楽しかった」という声がありました。記念品のお弁当箱は、閉校式で感謝を込めて保護者に手渡しました。

お世話になった方々

田んぼの先生

- ◎高橋新悦さん(農事組合法人 遊新)  
遊新の皆さんには田んぼの管理もして頂いています。
- ◎花巻地域青年部の皆さん

ごはんの先生

- ◎本館博子さん(生活福祉活動リーダー)
- ◎藤根悦子さん(生活福祉活動リーダー)
- ◎女性部の皆さん

畑の先生

- ◎地域ボランティアの皆さん

あぐりサポーター

- スクール進行がスムーズに進むようさまざまなお手伝いをして頂きました。
- ◎岩手県立花巻農業高校の生徒の皆さん
- ◎岩手県立花北青雲高校の生徒の皆さん

体験をさせていただいた

- ◎アスパラガス農家 佐藤祥行さん
- ◎リンゴ農家 伊藤侑子さん
- ◎ピーマン生産法人 農事組合法人 HHA泉畑

ご協力頂いた皆さんありがとうございました。

2019年度のちゃぐりんスクール

- ・テーマ：6つの「しよく」を感じよう ～食・植・触・色・飾・職～
- ・全5回(共通)
- ・対象者：JAいわて花巻管内の小学校3年生～6年生
- ・募集定員：40人

●募集の案内について(4月を予定しています)

JAのホームページにてご案内致します。また、案内チラシはJA各支店に設置するほか、小学校(花巻市内・北上市内)を通じて配布致します。

●お問い合わせ

企画部組織広報課 ☎0198-29-4011

1・2年生・保護者(親子体験教室)

低学年は保護者の方と一緒に親子で学べる内容を年5回のコースで、開催しました。

- ① **植・触** - 田植え体験・バケツ稲  
天気もよく田植え日和となりました。裸足で田んぼに入ること土の感触を肌で感じる事ができました。泥で足をとられながらも一生懸命手植えしている姿がとても印象的でした。
- ② **職** - アスパラガス収穫体験・アスパラガス選果場見学  
アスパラガス収穫体験では、ほ場の広さに驚いたり初めて収穫する子どもたちもいました。鎌を上手に使い袋いっぱい収穫できました。選果場では、収穫したアスパラガスが出荷されるまでの流れや予冷庫を見学しました。
- ③ **触** - 田んぼの生き物調査・まとめの時間  
5月に田植えをした、ほ場で田んぼの生き物調査を行いました。たくさんの生き物を捕まえようと土に顔を近づけて探していました。まとめの時間も、生き物について熱心に勉強しました。

- ④ **色・食** - 稲刈り体験・ジャンボのりまき作り  
慣れない鎌での稲刈りとジャンボのりまきを作りました。保護者に手伝ってもらいながら一生懸命行いました。

- ⑤ **飾** - もちつき  
田んぼの先生や地域ボランティア、青年部の皆さんと一緒にもちつきを行いました。初めてもちつきをする子どもたちも、興味津々に臼の中を覗いていました。つきたてのおもちはとても柔らかく、おいしいという声と素敵な笑顔が見られました。

閉校式では、一人一人が壇上に上がり校長先生から修了証書を受け取りました。田んぼの先生からは、ちゃぐりん田んぼで穫れたお米「ひとめぼれ」2kgの記念品が贈られました。



3・4年生

中学年は畑を中心に年7回のコースで開催しました。

- ① **植・触** - ズッキーニ植え付け・バケツ稲  
ズッキーニとマルチについて学習したあと、実際に畑に行きズッキーニを植えました。バケツ稲は初めてという子が多く、バケツの中をじっくりと観察していました。
- ② **植** - 枝豆植え付け・ズッキーニ観察・収穫  
種から枝豆、そして大豆に成長することを学習し、枝豆を植えました。ズッキーニの観察では、成長に驚いている子どもたちがとても多かったです。
- ③ **食** - ズッキーニ収穫・ズッキーニでピザ作り  
5月に定植したズッキーニを使った夏野菜ピザ作りを行いました。生地作りに苦戦していましたが、盛り付けまでみんなで協力して上手にできました。
- ④ **職・飾** - リンゴ学習・リンゴに絵を描こう  
リンゴ園に向かい、農家さんから生育について学んだあと、自分の名前入りリンゴを作らせて頂きました。花巻園芸センターでは、リンゴの選果施設を見学し、普段は入れない予冷庫や選果場に子どもたちは驚いた様子

- ⑤ **色・食** - 稲刈り体験・ジャンボのりまき作り  
全身泥だらけになりながら、力いっぱい鎌を引いて、稲刈り体験をしました。ジャンボのりまき作りでは苦戦している子が見られました。

- ⑥ **色・職** - リンゴ収穫体験・花き栽培施設見学  
以前のリンゴ学習で、名前をかいたテープを貼ったリンゴを収穫しました。日焼けによってうまく転写ができていないものもありましたが、以前よりリンゴは大きく成長していました。花き栽培施設見学では、シクラメンやポインセチアといった、これから出荷される花々を見学しました。

- ⑦ **食** - おはぎ作り  
リンゴ学習や収穫体験を踏まえて、リンゴに関するDVDを鑑賞し今までの学習を振り返りました。おはぎ作りでは、形を整えながらもち米をあんこで包むのに苦戦しましたが、簡単にできた上においしくて好評でした。閉校式では、職員から記念品のポインセチアが贈られました。

### スマート農業の理解深める 「2019花巻市スマート農業推進シンポジウム」を開催



スマート農業の技術について聞く参加者たち

J Aや花巻市、県などで組織する花巻市農業振興対策本部は2月6日、J A総合営農指導拠点センター（花巻市野田）で「2019花巻市スマート農業推進シンポジウム」を開きました。

市内外の農業者など約300人が参加。北海道岩見沢市のいわみざわ地域ICT農業利活用研究会の道下一記副会長がGPSガイダンスシステムを活用した事例を紹介したほか、県中央農業改良普及センターの白井智彦さんが同本部の実証事業について報告しました。白井さんは「入門機で技術を実感してもらうことが大切」と話しました。

会場内には、17社がドローンなどの最新機器を展示し、関心を集めました。

### 継続した優良種子生産に向けて 第34回岩手県種子生産者全体研修会

岩手県種子生産部会協議会と（公社）岩手県農産物改良種苗センターは2月5日、花巻市内の温泉で「第34回県種子生産者全体研修会」を開きました。

県内の種子生産者やJ A、行政、関係機関など約220人が参加。同市の上田東一市長が「花巻市これからのまちづくり」と題して講演したほか、県中央農業改良普及センター上席普及員の中西商量さんと渡邊麻由子さんが種子法廃止に基づき7年ぶりに改訂した「種子生産の手引き」について解説しました。

また、同会では特別功労者として1人、優良種子生産者として水稲・小麦・大豆の3部門で10人を表彰しました。



市が取り組む主な施策やスマート農業などについて紹介した上田市長

### 所得増大・生産拡大に向けて 営農指導員が研究内容を発表



キュウリホモブシス根腐病などについて発表した小原職員

J Aは1月17日、J A総合営農指導拠点センター（花巻市野田）で「営農指導員研究発表会」を開きました。

J A管内各地域の営農センターの代表10人が、米穀・園芸・畜産について研究内容を発表。農業者の所得増大や農業生産の拡大に繋がる研究発表に、参加したJ A役職員約130人は真剣に耳を傾けました。最優秀賞は北上地域営農センター園芸販売課の小原悠馬職員が受賞。1月29日から2日間開いた「J A岩手県営農指導員研究発表会」でも発表をしました。

小原職員は「発表会を通して学んだことを、今後の営農指導に生かしていきたい」と話しました。

### 看板に込めた想い 花巻地域青年部笹間支部が全国大会で表彰



共済連賞を受賞した笹間支部の立て看板

花巻地域青年部笹間支部は、「平成30年度J A青年組織手づくり看板全国コンクール」でJ A共済連賞を受賞しました。

2月19日から2日間開かれた、第65回J A全国青年大会で表彰されました。看板には、「若者の農力で地域を元気に」という文字が書かれ、収穫した野菜を持った農業女子がこちらを振り返る様子はさわやかな若者らしく映り、農業の魅力・かっこよさを表現するとともに女性の農業参加をPRする内容が評価されました。

高橋支部長は「地域から若手農業者を増やし、若い力とともに農業を盛り上げたい」と話しました。

### 地域の生活支えるスノーバスターズ 湯田・沢内支店がボランティア活動

湯田支店と沢内支店は、高齢者や体の不自由な人など自力での除雪が困難な世帯を対象に、地域住民やボランティアが除雪を行う「西和賀町スノーバスターズ」に協力し、特別豪雪地帯の生活を支えています。

2月17日には、支店職員15人と同町立湯田中学校の中学生4人が作業しました。班ごとに分かれて、清水ヶ野地区と湯田地区の4世帯を除雪。雪が降る中、室内に明かりが入るよう、数メートルにも積もった屋根から落ちた雪を重点的に除雪しました。

沢内支店の高橋喜彦支店長は「除雪活動を通じて、特別豪雪地帯の雪との戦いの一助になりたい」と話しました。



相互扶助の精神で、除雪作業をする支店職員たち

### 燈火の揺らぎ見つめ、幻想の世界へ 西和賀町内の雪あかりに参加



午前中から作業にあたり、最終仕上げをする職員たち

J Aは2月9日、西和賀町内で開かれた「雪あかり2019 in しわが」に参加しました。

西和賀統括センターと西和賀地域営農センターの職員が、同センター敷地内（同町沢内）で雪あかりを制作。平日の休憩時間を使い準備した高さ約3m、横幅約15mの雪壁を、同日に約20人がスコップを使ってくり抜き、旧J A西和賀のキャラクター「西和賀ファミリー」を飾ったほか、バケツを使って80個以上の雪あかりを作りました。

瀬川公統統括センター長は「職員が地域の文化を誇りに持ち、積極的に参画して地域に貢献しようと毎年参加している」と話しました。

果 樹

りんご達の応援大会～さらなる高みを目指して～

果樹部会とJAは2月25日、「りんご達の応援大会」を花巻市内の温泉で開き、生産者やJA、市場関係者や行政など約150人が集まりました。

◆優秀生産者表彰

JA出荷農家を対象に優秀生産者を表彰。また、「2018いわて純情りんごコンテスト」で1等賞を受賞した団体も表彰しました。

販売額の部…販売額の最上位者を表彰

紅いわて……千葉 久さん  
ジョナゴールド…宇津宮邦昭さん  
蜜入りふじ……菅野常見さん

品質の部…秀品率と適玉率の最上位者を表彰

紅いわて……伊藤正孝さん  
ジョナゴールド…宇津宮邦昭さん  
蜜入りふじ……戸来邦次さん



◆平成31年度生産販売推進方針

生産者の所得増大と産地形成に向けて、以下の取り組みをします。

- 品種のスクラップ(終焉) & ビルド(新導入)
- 新たなマーケティング開発とマッチする品種の選抜
- 紅ロマン・紅いわての高品質産地形成
- 品質ワンランクアップ運動を実施・秀品率60%
- 果実需要期の安定供給
- PR活動など

◆パネルディスカッション

「まとまったロットの高品質産地を目指して」と題し、市場より荒巻万寿夫さん(大果大阪青果株)、伊藤正孝さん(農の匠)、菅野常美さん(東和支部副支部長)、宇津宮邦昭さん(若手りんご生産者グループ会長)がパネラーとなって、生産者の所得増大を目指し活発に話し合いました。



園 芸

「二子さといも」さらなるブランド力強化に向けて



生産者や北上市、JAなどで組織する二子さといも協議会は2月19日、北上支店(北上市流通センター)で「平成30年度二子さといも実績検討会」を開きました。

会員約50人が参加。小原富美雄会長は「来年度に向けたよりよい話し合いにしてほしい」とあいさつしました。検討会では、同市の職員が昨年9月の地理的表示(GI)保護制度登録後の課題や今後の取り組みを紹介したほか、販売戦略について提案しました。勉強会も開き、県中央農業改良普及センターの鴨志田千恵さんがほ場づくりの基本技術について講演。堆肥の役割や選び方、マルチの種類や特性などについて伝えました。

パンフレットを制作

同協議会は、県の「未来を担う園芸産地一番星育成事業」を活用して「二子さといも」や料理、GI登録などについて紹介するパンフレットを制作しました。



各グリーンセンター定休日

3・4月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。

	定休日	3月の営業時間	4月の営業時間
花 巻	3/3(日)・3/10(日)	8:30~17:00	平日…8:30~18:00/土・日・祝日…8:30~17:00
石 鳥 谷	3/9(土)・3/23(土) / 4/13(土)・4/27(土)		8:30~17:00
大 迫	土・日・祝日		8:30~18:00
東 和	3/2(土)・3/16(土) / 4/20(土)		平日…8:30~18:00/土・日・祝日…8:30~17:00
北 上	3/10(日)・3/24(日)		8:30~17:00
西 和 賀	3月…土・日・祝日 / 4/7(日)・4/14(日)		8:30~18:00
遠 野	3/9(土)・3/23(土) / 4/10(水)		

●お問い合わせ先：営農部生産資材課 ☎ 0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで

園 芸

初! ピーマン販売高4億5,000万円突破!

JAいわて花巻の野菜販売高で1位を誇るピーマンが、初めて販売高4億5000万円を超えました。

JAは、収益性が高く共同選果により労力軽減が図れるピーマンに着目。以前から推進品目に指定していましたが、さらなる生産拡大に取り組むため今年度から最重点推進品目に指定しました。今年度は、全国的な品薄により高単価で販売され、1kg当たりの平均価格が458円(前年比130%)となったことが販売高の増加に繋がりました。

来年度は、栽培面積拡大や販売高の増加に繋げようと、「いわて型野菜トップモデル産地創造事業」によるハウスピーマンの拡大を推進。2021年度までに販売高5億4,000万円を目指します。

平成30年度 ピーマン生産実績

販売高 4億5,037万円

出荷量 961t / 栽培面積 2,245a / 生産者数 296人

◆JAの取り組み

①補助事業

JA全農いわてや行政などの手厚い補助事業により、新規栽培や集落営農組織、法人の栽培面積拡大に繋がった。

②農の匠

JAが地域の中核農家を指導役として委嘱している「農の匠」が、定期的に開催している指導会で指導や助言を行い、栽培技術の向上に繋がった。

生産者全員が一生涯懸命頑張った成果が表れた。来年度も皆で頑張り、単収向上と販売高5億円以上を目指したい。

花巻地域野菜生産部会  
ピーマン専門委員会  
晴山文佳 委員長



畜 産

牧草地の土壌改良について学ぶ



畜産部会連絡協議会は1月29日、花巻市内のホテルで「畜産後継者・若手経営者合同講習会」を開きました。

生産者やJA、行政の関係者約40人が出席し、県中央農業改良普及センターの佐々木正俊さんから「牧草地における土壌改良施用効果」について学びました。土壌の水素イオン指数(pH)と肥料要素の溶解・利用度について、平成29年度花北地域土壌分析の平均値はpH5.03(最高値6.1、最低値4.12)という結果がでました。佐々木さんは「pH5.03ではどの成分もほぼ効かず、牧草の適正範囲は6.0~6.5で、無駄なく吸収できる」と話しました。

平均値を上げるため、「草地055号」施用実証圃を花巻市の2戸、北上市の2戸、西和賀町の2戸に設置。施用効果として散布の省力化、牧草の栄養改善、生育量の増加など挙げられました。

園 芸

来年度の栽培に向けて

花巻地域野菜生産部会石鳥谷支部は2月14日、花巻市内の温泉で「平成30年度実績検討会並びに優良生産者表彰式」を開きました。

部会員やJA職員など約120人が参加。高橋和美支部長は「研修では質問をし、即実践できるように勉強してほしい」とあいさつしました。実績検討会では、JA職員が今年度の販売実績と課題、来年度の野菜推進方針について説明。研修では、近年実績と単価が良い葉茎菜類に再度スポットを当てようと、JA全農いわて園芸部生産販売課の三浦瑞明課長が県内の栽培実態を紹介したほか、露地ニラやブロッコリーなどを例に挙げて栽培提案を行いました。また、JA職員も具体的な試算表や作型を紹介。冬季の遊休ハウスを活用して葉茎菜類の栽培に挑戦し、所得向上に繋げることを提案しました。

表彰式では、総合の部として200万円以上の販売者81人のほか、重点野菜11品目ごとに品目と反収の2部門でのべ56人に賞状を授与しました。



**JAいわてグループ  
合同職場説明会を開催します**

2020年度職員採用に向け、JAいわてグループ合同職場説明会が開催されます。

JAグループ全体の事業概要説明をはじめ、県内JA別にブースを設けておりますので是非、ご参加ください。

**■日時**

4月5日(金)  
午後1時~2時30分(受付:正午~)  
※事前の申し込みは不要です。

コミュニケーションカードを参加JAのホームページよりダウンロードし、当日持参してください。

<http://www.jahanamaki.or.jp>

**■会場**

いわて県民情報交流センター  
「アイーナ」会議室804  
(盛岡市盛岡駅西通1-7-1)

**●お問い合わせ**

総務部人事課  
☎0198-22-6266(直通)  
Email: zinzi@jahanamaki.or.jp

**■お詫びと訂正**

JA広報誌「ぼらーの花巻2月号」の掲載内容に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【8ページ・ぼらーのNEWS「誰もが利用しやすいJAへ」の記事内・1行目】  
〔誤〕ホームヘルパーの資格保有者で構成する  
〔正〕趣旨に賛同するJA管内の組合員とその家族、地域住民で構成する

**平成31年度一日人間ドック助成金のお知らせ**

日頃より一日人間ドックをご受診頂き誠にありがとうございます。  
4月1日から一日人間ドック助成金が下記の通り変更となりますのでご確認ください。

区分	従来の助成金	新規の助成金	
一日人間ドック(JA取り扱い料金)	5,000円	<b>4,000円</b>	
オプション脳MRI・MRA検査	5,000円	<b>4,000円</b>	
専門ドック	脳ドック	5,000円	<b>4,000円</b>
	心臓ドック	3,000円	<b>2,500円</b>
	肺ドック	3,000円	<b>2,500円</b>
	レディースドック	2,000円	<b>1,500円</b>

●お問い合わせ 健康福祉部福祉課 ☎0198-27-3890

**山火事・野火火災に注意しましょう**

空気が乾燥し強い風が吹く春先は、山火事や野火火災が多く発生しやすい時期です。

火災の多くは、ちょっとした火の取り扱いの不注意から発生していますので、次のことを守りましょう。

1. 強風時や乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。また、風が強くなってきたら火を消すこと。
2. 枯れ草などは一度にたくさん燃やすと火を消すのが難しくなります。少しずつ燃やすこと。
3. 燃えやすいものがある場所では、たき火をしないこと。
4. 火入れやたき火などをする場合はその場を離れず、焼却後は完全に消火を確認すること。また、消火用具を準備すること。
5. たばこの吸いながらは投げ捨てないこと。
6. 火災とまぎらわしい火入れなどをするとき、あらかじめ最寄りの消防署に連絡してください。

**●お問い合わせ**

花巻市消防本部予防課 0198-22-6123(直通)  
北上地区消防組合消防本部予防課 0197-65-5173(直通)  
遠野市消防本部遠野消防署 0198-62-2119(代表)  
釜石大槌地区行政事務組合消防本部 予防係 0193-22-1642



**旬の産直大百科**

**冬が旬のホウレンソウ  
うまみぎゅぎゅぎゅつ**

JAの農産物直売所各店では、ホウレンソウが続々と入荷しています。ビタミン類とミネラルがたっぷり含まれるホウレンソウには貧血予防、高血圧予防、生活習慣病の予防、眼精疲労の予防改善、冷え性対策、免疫力向上、美肌効果などがあります。

**寒締めほうれん草**

一般的なホウレンソウは、寒い時期ビニールハウスやトンネルで栽培されますが、寒締めほうれん草は寒い屋外で栽培されます。寒さに負けないように葉っぱが厚くなり、糖濃度が上がるのです。ビタミンCは夏のホウレンソウの約4倍も増えるとも言われています!

**知って得する豆知識**

ホウレンソウの根元の赤い部分には、マンガンが含まれていて、骨を形成するのに有効だとされています。

旬の時期はこの部分の甘みが強くおいしいので、根元の間を開くようにしっかり洗い、葉の部分と共に食べるといいですよ。

**平成30年度生産者大会**

母ちゃんハウスだあすことすぎの樹は2月7日、花巻市内のホテルで「平成30年度生産者大会」を開きました。

出荷者で構成する「だあすこの会」と「すぎの樹会」の両会員のほか、JA職員など約150人が出席。野菜ソムリエ上級プロの小原薫さんが「元気が出る産直運営のために~あなたが笑顔のインフルエンサー~」と題して記念講演を行いました。講演の最後には小原さんのオリジナルソング「岩手寒締めほうれん草の歌」を参加者全員で歌い、会場が一体となりました。



**JAの農産物直売所では、旬の食材を取り揃えて皆様のご来店を心よりお待ちしております**

農産物直売所 母ちゃんハウスだあすこ 花巻市野田335-2 ☎0198-24-2914	はなまき特産物直売所 すぎの樹 花巻市太田42-227-2 ☎0198-28-2209	北上産地直売所 あげみち 北上市流通センター601-8 ☎0197-71-1338	産直 母ちゃんハウスだあすこ沿岸店 大槌町大槌16-28 ☎0193-42-8151
---	---	---	--

**ぼらーの  
広場**

ぼらーの広場は、読者の皆様との交流の場です。皆様からテーマにちなんだお便りを募集し、紹介しています。

**今月のテーマ 我が家のルール**

我が家は、寒い日のお風呂に入る時は、お湯が温かいうちに順番に入るとイイ!というルールです。おすすめです! (北上市・さくら)

我が家の日曜日の朝は、いつもよりちょっと遅めに起きて、目玉焼き定食をいただくことです。 (遠野市・ルンレンさん)



投稿を頂いた方の中から抽選で、今月は「そうめんセット」をプレゼント!

1日のスタートは「あいさつ」からです。おはよう。行ってきます。ただいま。おやすみ。など声がけを心がけています。 (花巻市・友のジジ)

特にルールとして決めたわけではないのですが、いつの間にか「帰宅が遅くなるときには、連絡をする」のが我が家です。(北上市・かすみ草)

夕飯はテレビを消して、家族4人で食すこと。1日の出来事を家族だんなで分かち合うことです。(北上市・新米ママ)

電気料金を気にして、少しでも節電するために、夜更かしをしすぎないように心がけています。(花巻市・雪唄新奈)

**来月のテーマ(5月号掲載)「わたしの好きな時間」** 応募締切/4月10日(水) 消印有効

テーマにちなんだエピソードを募集します。これをしているこの時間が好きなどのエピソードがありましたら教えてください。  
応募方法: ①テーマにちなんだお話し②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③ペンネーム④JAや広報誌に関するご意見・ご感想を記入の上、はがきまたはメールにてご応募ください。右記のQRコードからのご応募もできます。

※投稿頂いた中から内容を誌面に掲載させていただきます。ペンネームが無い場合はイニシャルでの掲載になります。  
●はがき: 〒025-8504 花巻市野田316-1 JAいわて花巻組織広報誌「ぼらーの広場」宛  
●メール: polano@jahanamaki.or.jp ●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

5名様にプレゼント!  
**花巻ブルーシリーズ  
クレマチス**

JAいわて花巻  
応募フォーム  
<https://www.jahanamaki.or.jp/entry/index.php>



- 理事会だより**  
次の議案について審議され、全議案議決されました。  
**第13回理事会 開催日: 2月26日(火)**
- 決議事項**
- 第1号議案 指定福社用具貸与・販売事業所の廃止について
  - 第2号議案 平成31年度基本方針及び事業計画の設定について
  - 第3号議案 平成31年度賦課基準及び各種手数料の設定について
  - 第4号議案 平成31年度子会社事業計画の承認について
  - 第5号議案 平成31年度内部監査計画の設定について
  - 第6号議案 平成31年度余剰金運用方針の設定について
  - 第7号議案 平成31年度不良債権処理方針の設定について
  - 第8号議案 平成31年度借入金金の最高限度額の設定について
  - 第9号議案 平成30年度決算にかかる固定資産減損会計実施方針の設定について
  - 第10号議案 出資金の減口(国税徴収法による払戻請求)について
  - 第11号議案 内部統制システム基本方針の設定について
  - 第12号議案 JAいわて花巻人材育成基本方針の一部改正について
  - 第13号議案 マネロン及び反社会的勢力等への対応に関する規程類の変更並びに制定について
  - 第14号議案 利益相反取引(理事への貸付)の承認について
  - 第15号議案 利益相反取引(理事への貸付)の承認について
- 監事会だより**  
次の事項について協議されました。  
**第13回監事会 開催日: 2月26日(火)**
- 協議事項**
- (1) 平成31年度監事監査計画の決定について



# 風趣点景

管内四季だより③⑥



## 「春を告げる」

北上市和賀町藤根(ざぜん草の里)

写真・文/高沢 翔(西和賀町沢内)

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。

ホームページ「高沢翔写真館」<http://shou.eek.jp>

撮影データ(デジタルカメラ) 2018年3月下旬  
ISO感度: 1600 絞り: f8 露出補正: +0.7

北上市和賀町藤根のざぜん草の里。ザゼンソウの名は、仏炎包と呼ばれる紫褐色の葉が座禅を組む僧侶に似ているところから付けられたとか。群生地は木道が整備され来訪者を楽させています。  
平成二六年七月号より「管内滝巡り」で初めて本欄に掲載され、その後「管内四季だより」として四季の風景を紹介してきましたが、今号をもちまして終了とさせていただきます。皆様には長い間ご覧頂き、誠にありがとうございました。

先日、腰の周辺が寝られな  
らなくなったところ、坐骨神経痛  
とのことでした。まだ少し痛  
みが続いています。普段から  
身体がケアが大切だと感じ  
ました。身体に不調を来した  
ことで、健康の有難みを痛感  
しました。身体に違和感を感じ  
た場合は、早めに医療機関  
を受診することをオススメし  
ます。周囲の景色も春めいて  
きたので、皆さんも寒くて縮  
こまっていた身体を動かして  
みませんか。自分のためにも  
定期的な健康管理を心がけま  
しょう。  
「木村」

澄み切った青空の下、花束  
を片手に歩く学生。どん  
な気持ちや想いを抱いて帰路  
に着いているのだろうか。寂し  
さ、想い出、不安、希望、夢。  
桜はまだ咲かないが、長く続い  
た寒い冬から徐々に春の陽気  
を感じられるようになり、卒  
業生たちは少しの不安と大き  
な希望を胸に歩み始めるだろ  
う。そんな気持ちが懐かしい。  
今年もまた春がやってくる。  
多くの生き物や植物が動き出  
す。私も遅れをとってはいら  
れない。今年も大きく成長で  
きる1年になるよう、春空の  
下、大きく息を吸い込んで走  
り出す!!  
「佐藤」



## 編集後記

From Editor's